

# 不退転

## 名護市特活研修会

第 46 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

9日(金)、「特別活動における教師の専門性を高め、学習指導及び生徒指導の改善・充実に資する」ことを目的に、名護市特別活動研修会が開催されました。市内の小・中学校から40名余の先生方が参加し、1年2組では、下地三保子先生が「なぜ働くのか」を題材に、2年3組では、上原太一先生が「災害時の避難訓練」を題材に、3年1組では、上間寿樹先生が「夢を叶えるために」悩みや不安を解消しよう」を題材に、授業を公開しました。それぞれの学級の授業デザインと生徒達の授業に向かう姿勢が素晴らしく、参観した先生方もとても、感心していました。その後、学年別に熱心な研究協議が行われました。



1年2組



2年3組

- ①生徒の表情がよかった。これは学校が落ち着いていることだと思います。私の最後の勤務校も学び合いをやっており、生徒も落ち着き、表情もよかったです。
- ②特別活動に関しては、子どもの関わり合いまではうまくいっていると思います。次のステージだと思います。関わり合いを個の学びにどう返すかだと思います。本日の授業でいえば、発表後だと思います。
- ③生徒の発表の時、校長先生がニコニコしていた。これは聴き合うことの象徴です。子どもを受容している方に見られる様子です。授業者は授業で精一杯ですので、そこまでは難しいと思います。
- ④授業者が反省会のコメントで、「解決方法がうまくいってなかった」と言っていました。私も授業を見て、同じことを思っていました。上間先生は子供の様子から授業を感覚的に省察できる方です。このような省察と模索の連続が教師の成長だと思います。これが高まると佐藤先生の言う芸術になるのかな。

3年1組の授業を参観した比嘉 俊先生(琉球大学准教授)から、コメントをいただきましたので、紹介します。

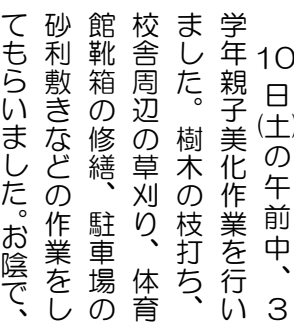


3年1組



研究協議

校内もきれいに整い、実りの秋を迎えられます。



10日(土)の午前中、3学年親子美化作業を行いました。樹木の枝打ち、校舎周辺の草刈り、体育館靴箱の修繕、駐車場の砂利敷きなどの作業をしてもらいました。お陰で、

## 3学年親子美化作業